

プロジェクト・マネージャー（PM）育成の具体的仕組み・方法を考える【会場】

(4125137)

プロジェクト・マネージャーの育成は、体系的な知識やスキルの研修、段階的な実践の場の提供、上司やプロフェッショナルによる日常的継続的な支援、更に評価の仕組みなどを総合的に整備して、実施していく必要があります。本セミナーでは、プロジェクト・マネージャーの育成の基本的な考え方や仕組みに関して、事例や演習を交えながら、体系的に考えていきます。

開催日時	2026年3月13日(金) 10:00-17:00会場
JUAS研修分類	共通業務(資産管理・人的資産管理)、プロジェクトマネジメント(プログラムマネジメント)
カテゴリー	共通業務(契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理)・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	濱久人 氏 (株式会社彩成コンサルティング 代表取締役社長) 東洋大学非常勤講師 パナソニックにおいて、ソリューションシステム開発、商品開発プロジェクト、システム企画などを経験。さらにプロジェクトマネジメント、事業戦略、パーソナルスキルなどの研修講師を歴任。NTTデータユニバーシティでプロジェクトマネジメント研修を担当。株式会社彩成コンサルティングを立ち上げ、プログラム・プロジェクトマネジメント研修などを推進している。PMAJ会員、PMI日本支部会員
参加費	J U A S 会員/ITC : 35,200円 一般 : 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	プロジェクト・マネージャー育成を推進する方(人事、組織責任者、技術総括部門、PMOなど) 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ(オンラインなし)

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

特になし

<受講者の声>

- ・正に具体的な育成の仕組みを理解できたため実際に取り入れられそうな手段のイメージアップにつながった。
- ・各々の悩みを共有化でき、コーチングやメンタリングの知識を学べた。
- ・テキストに載っていない考え方の話、体験談などが聞いたことで多くの気づきがあった。
- ・これまで自己流(自社流)だったので、一般的な取り組みについて整理してうかがえたのが良かった。

◆セミナーの目標レベル

- ・プロジェクト・マネージャーの役割や重要性を理解する
- ・プロジェクト・マネージャーに求められる知識やスキル、コンピテンシーを理解する
- ・プロジェクト・マネージャーの育成の基本的な考え方を理解する
- ・知識を習得するための研修体系を理解する
- ・上位者による指導の仕組みを理解する
- ・プロジェクト・マネージャーの評価の考え方を理解する

◆主な研修内容：

はじめに セミナーの説明

1. 一流のPMに求められるコンピテンシー

1. 1 コンピテンシーとは
1. 2 コンピテンシーモデルについて
1. 3 PMコア・コンピテンシーの例
1. 4 プロジェクトマネジメントスキル
1. 5 コンピテンシー向上のプロセス

2. プロジェクト・マネージャーのキャリアパス

2. 1 キャリアパス
2. 2 キャリアパス事例

3. プロジェクト・マネージャーの育成

3. 1 育成の概要
 3. 2 育成のプロセス
 3. 3 プロジェクトの場
 3. 4 指導者による指導
- 【演習】メンタリングの基本スキル

4. 評価制度

4. 1 評価の対象とタイミング
 4. 2 評価方法
 4. 3 評価の仕組み
- 【演習】評価制度を考える

5. まとめ

プロジェクト・マネージャーを育成するために